

盛岡発

「復興教育」で物販



岩泉町の小本小学校の児童が、産業面での町の復興に一役買おうと修学旅行先の盛岡で地域の特産品を販売しました。盛岡の肴町商店街で

岩泉の特産品を販売したのは、小本小学校の本校と大牛内分校の6年生合わせて15人です。『龍泉洞の水』や『岩泉ヨーグルト』など、町内で開発された特産品を道行く人に販売しました。小本小学校の本校は震災で校舎が被災し、児童は今も大牛内分校で学校生活を送っています。販売会は『復興教育』の一環として行われましたが、学校ではこうした取り組みを継続する事にしています。(6/11 ニュースエコー)

釜石発

「釜石市民文化会館」解体

震災の津波で浸水し、使えなくなっていた釜石市民文化会館の解体が始まります。昭和53年に建てられた釜石市民文化会館は、30年以上にわたりイベントなどに使用され、市民に愛されてきました。津波で大ホールがある1階部分が浸水した上、地震により屋根などが壊れ雨漏りもするようになり、使用不能の状態になっていました。釜石市民文化会館の本格的な解体工事は7月から始まり年内に終了する予定です。(6/11 ニュースエコー)



宮古発

田老地区まちづくり計画



津波で壊滅的な被害を受けた宮古市田老地区の新たな「まちづくり」の計画が、市から示されました。計画によりまずと、診療所・消防署・保育所などは、乙部地区の高台に隣接して建設されます。区画整理が行われる旧市街地には、野球場や観光交流物産センターが核として整備されます。また市は、『たろう観光ホテル』に加えて『X字の巨大防潮堤の中心部』も震災遺構として保存する方針を明らかにしました。(6/13 ニュースエコー)

久慈発

津波避難訓練

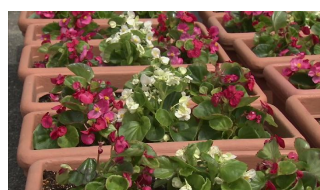
明治三陸大津波、そして東日本大震災の教訓を忘れまいと久慈市で津波避難訓練が行われました。訓練は明治三陸大津波が襲来した6



月15日に合わせ久慈市が毎年行っているものです。訓練は岩手県北部で、震度5強の地震が発生し、大津波警報が出されたという想定で行われ、およそ1000人の市民が参加しました。また、防災ヘリを使った救助訓練も行われ、参加者は改めて防災への意識を高めていました。(6/15 ニュース)

陸前高田発

仮庁舎前に花のプレゼント



陸前高田の人たちに花を楽しんでもらおうと、滝沢市のガーデニング会社が陸前高田市役所仮庁舎前を季節の花で彩りました。花を贈ったのは滝沢市の「西館拓硝子店」で、被災地支援の一環として震災の年から毎年、陸前高田市に花を贈り続けています。今回は、夏から秋にかけて咲くペコニア140株を贈り、市役所前は赤や白の花で彩られました。(6/16 ニュースエコー)

大船渡発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいん」の田村華恵さんが、6月10日に大船渡の野々田埠頭に入港した客船「にっぽん丸」の歓迎セレモニーについて伝えてくれました。にっぽん丸は全長166m、定員524名の大きな船で、今回は横浜港発着の日本一周クルーズです。乗客にはホタテの炭火焼きや餅などが振る舞われ、短い大船渡での時間を楽しんでもらいました。また14日に運行された三陸鉄道南リアス線の「復興歌声列車」の様子も伝えてくれました。主に地元の方たちが参加したこのイベントは列車内でカラオケを楽しむというもので、自前の楽器を持ち込む人もいて大いに盛り上がったという事です。(6/18)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122